

大阪市支部 支援部会

大阪市 旭区 思斉支援学校での

夏休み中の職員研修の取り組み

☆テーマ別研修会

本校のテーマ別研修会は、近年、短い在籍年数での転勤や、新任・講師の教員が増え、知的障がい校としての専門性の維持・継承についての危機感から始まり、毎年本校で実技を中心とした教職員相互の学びあいの場となっております。

本年度は、去る7月23日～30日にかけて、テーマ別研修会として、授業や日々の学習活動に活かせるよう、研修会を教員間で実施しました。『織物』『プールでの事故防止』『革細工』『太田ステージ』個別の教育支援計画の5テーマについて、講師の先生へ活発に質疑応答をしたり、一生懸命作品づくりの技術を学んだり、非常に熱心に、そして、和気あいあいとした雰囲気で行うことが出来ました。



▲テーマ別研修会“織物”での様子。

☆夏期講習会

毎年、8月初旬に本校教職員及び、大阪府下の支援学校・保育所・幼稚園・小学校・中学校の先生方を対象に、外部から講師をお招きして、夏期公開講座を行っています。本年度は8月1日・2日の二日間、午前・午後それぞれ2講座で、合計4講座が開催されました。

1日午前の『キャリア教育における進路指導のポイント』大阪市内の就労移行支援事業所が共同して活動されている E-Chairs さんから3名の講師の方々にお越しいただき、就労移行支援の現場や、保護者対応、マナー講座など、様々な角度からキャリア教育についてのお話をお聞きすることが出来ました。午後の『身体から発せられるメッセージ』では、特別支援教育の指導・支援に活かす実践的アプローチ』では、長年、動作法に携わっておられます大阪教育大学附属特別支援学校の岩井俊夫先生より、実技を交えて、理論の紹介をしていただきました。

2日午前の『知的障がいのある児童・生徒による他害への対処』では、司法書士の小泉嘉孝先生より、生徒や教員が他害の当事者になってしまった時の法的な対処について、専門的な視点からのお話をいただきました。午後の『力に頼らない生活指導にむけて』では、大阪市立阿武山学園の寮長である安食義臣先生より、日々の児童・生徒たちと野生活の中で得られた経験を中心としたお話をお聞きすることが出来ました。どの講演も講師・参加者の先生方の相互の熱心な姿が印象的でした。

来年度も、現場の教職員の先生方のニーズ応える内容の講習会を行う予定ですので、思斉支援学校まで足を伸ばしていただけたら、幸いに思います。